

(2015.9.29)

全国 47 都道府県の住民の観光活性化意欲を可視化する 「観光アクティベーション調査」を実施

- 観光活性化意欲を可視化する地域創生のバロメーターとして「観光アクティベーション調査」を開発し、全国 47 都道府県の住民を対象に実施
- 「観光アクティベーション指数」ランキングの上位 5 都道府県は、
(1 位)岩手県、(2 位)沖縄県、(3 位)京都府、(4 位)石川県、(5 位)島根県
- 地域住民参画による持続可能な観光振興手法を JTB グループが提案

JTB グループで「日本を元気にする～Motivate Japan～」を 2020 年コーポレートビジョンスローガンとし、モチベーション向上ソリューションをトータルに提供する株式会社ジェイティービーモチベーションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：上田 泰志）は、2015 年 7 月に全国 47 都道府県を対象に「観光アクティベーション調査」※を実施しました。

※地域活性化を推進する最大の原動力である住民の「観光活性化意欲」を定量的に指数化、可視化する調査

【取組背景】

地方創生に向けて全国的に観光振興の取組みへの関心が高まっています。その背景には、成熟社会である日本において急速に進展している少子高齢化により、今後、多くの地域の衰退が進んでいくことにあります。地域の衰退に歯止めをかけ、地域活性化を促すためには、継続的な地域経済の好循環を生み出す新たな産業の育成が必要となります。そして、その好循環を生み出す新たな産業こそが観光です。また、観光庁によれば 2014 年の訪日外国人旅行者数は 1,341 万 4 千人を記録し、引き続き大幅な増加傾向が見込まれます。この訪日外国人旅行者の人流を地域経済に活かしていくことが必要です。JTB グループは、「交流文化事業」を事業ドメインとして地域活性化の総合プロデュース業務を「地域交流ビジネス」という新たなビジネス領域として定めています。一過性のブームで終わる観光振興でなく、地域に暮らす人々が中心となり地域社会全体が観光振興を通じて継続的に発展する本質的な地域活性化をグループ全社で目指しています。

【調査内容】

観光振興によって継続的に地域活性化を実施するためには、その地域で暮らす住民やその地域の観光振興に関わるプレイヤー（地元企業・観光関連団体など）が主体的に地域課題について考え、能動的に行動することが重要となります。観光アクティベーション調査（以下、本調査）は、地域活性化を推進する最大の原動力である住民の「観光活性化意欲」を定量的に指数化、可視化する調査のことです。本調査では地域における「景観・自然」「観光施設・歴史的建造物」「特産・名産品」「食文化」「歴史・文化・伝統」の 5 つの代表的な観光資源を「認知」「共感」「推奨」「行動」の 4 つで分類し、ジェイティービーモチベーションズの独自調査設計（※1）をもとに「観光アクティベーション指数」の算出を行いました。さらに「観光アクティベーション調査」

の総合指数と「観光誘引力」(※2)とのクロス分析を行い、その地域における観光振興の状態を分析しました。主な結果は以下の通りです。

※1：株式会社ジェイティービーモチベーションズ独自ノウハウを活用した調査設計について

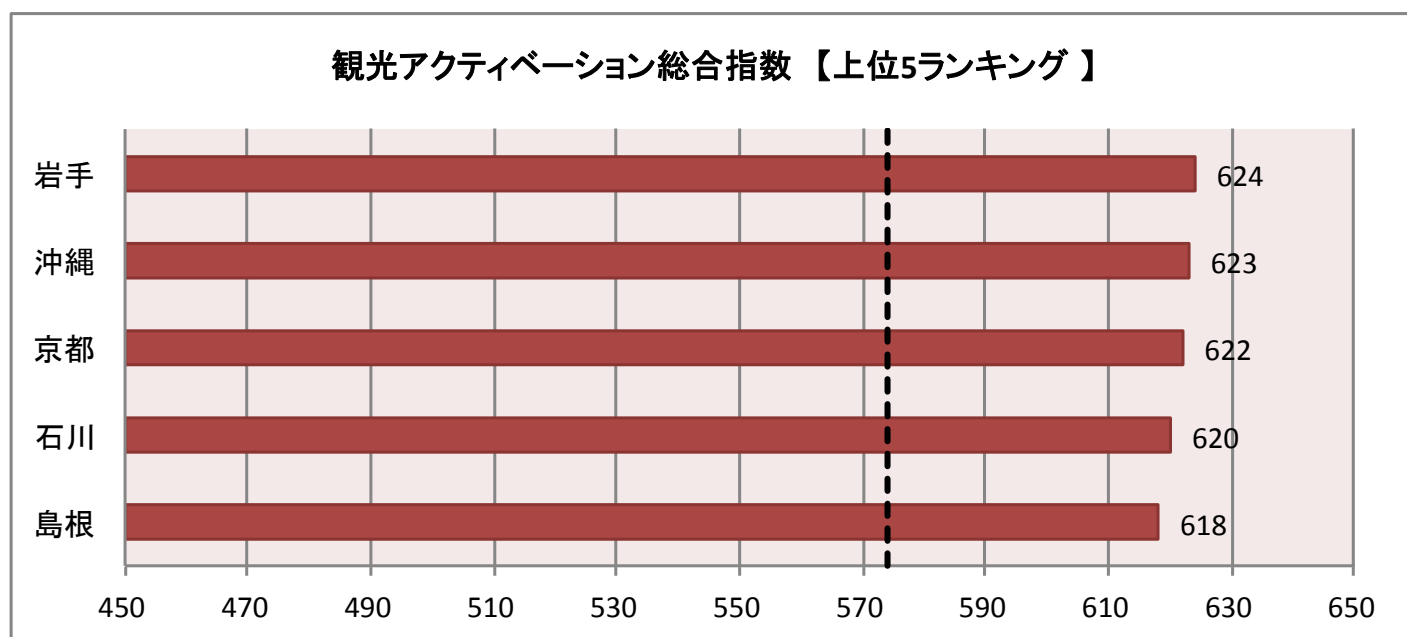
1993年創業以来22年間にわたり、人々のモチベーションの研究およびコンサルティングを行ってきた当社独自の10万名超のモチベーション・データベース保有とモチベーション理論(動機づけ理論・浸透理論)をベースに当調査は設計しています。

※2：「観光誘引力」について

全回答者(自県は除く)に占める「また、観光で行きたい」と「今後、観光で行きたい」の割合の合計値を「観光誘引力」として算出しています。

【47都道府県別「観光アクティベーション総合指数」上位5ランキング】

全国平均		574
1位	岩手県	624
2位	沖縄県	623
3位	京都府	622
4位	石川県	620
5位	島根県	618



【47 都道府県別 「観光アクティベーション調査（景観・自然）」 上位 5 ランキング】

全国平均		616
1位	北海道	675
2位	島根県	663
3位	熊本県	662
4位	石川県	658
5位	鳥取県	655

【47 都道府県別 「観光アクティベーション調査（観光施設・歴史的建造物）」 上位 5 ランキング】

全国平均		560
1位	京都府	639
2位	奈良県	620
3位	島根県	618
4位	石川県	616
5位	熊本県	602

【47 都道府県別 「観光アクティベーション調査（特産・名産品）」 上位 5 ランキング】

全国平均		599
1位	岩手県	661
2位	沖縄県	654
3位	北海道	646
4位	和歌山県	643
5位	高知県	640

【47 都道府県別 「観光アクティベーション調査（食文化）」 上位5 ランキング】

全国平均		567
1位	沖縄県	638
1位	香川県	638
3位	岩手県	632
4位	山形県	626
5位	高知県	620

【47 都道府県別 「観光アクティベーション調査（歴史・文化・伝統）」 上位5 ランキング】

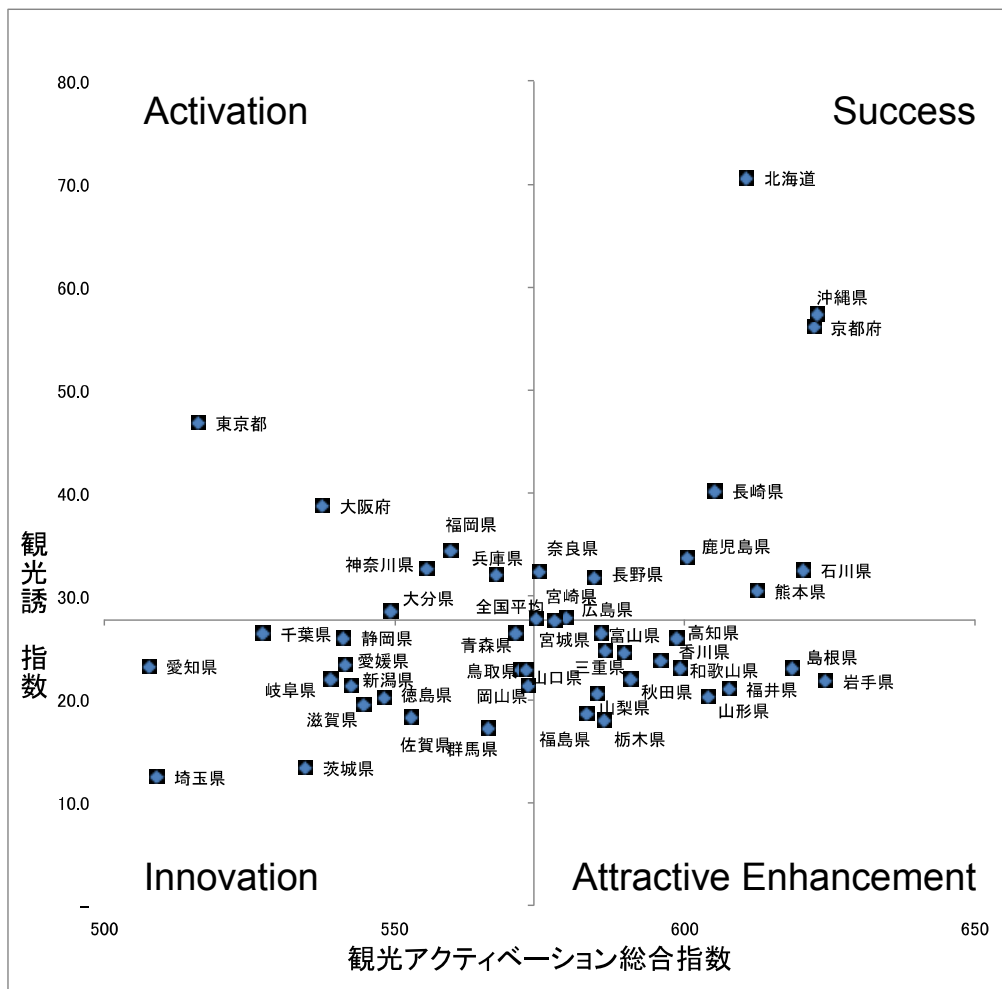
全国平均		529
1位	京都府	604
2位	石川県	595
3位	岩手県	583
4位	沖縄県	582
5位	島根県	576

【47 都道府県別 「観光アクティベーション調査（観光誘引力）」 上位5 ランキング】

全国平均		27.7
1位	北海道	70.6
2位	沖縄県	57.3
3位	京都府	56.1
4位	東京都	46.8
5位	長崎県	40.3

単位：パーセント（％）

【「観光アクティベーション総合指数と観光誘引力」の4象限マトリクスについて】



「観光アクティベーション総合指数と観光誘引力」の4象限マトリクスでは、右上の象限を住民の観光振興意欲が高く、観光地としての誘引力が高い成功モデル地域と位置付け、右下を住民の観光振興意欲が高いが、観光地としての誘引力が低い地域、左下を住民の観光振興意欲が低く、観光地としての誘引力も低い地域、左上を住民の観光振興意欲は低いが、観光地としての誘引力が高い地域と位置付けています。

【SAAI（サーイ）モデルとは】

SAAIモデルは「観光アクティベーション総合指数と観光誘引力」の4象限マトリクスより、右上の象限を観光地として成功している地域（Success）、右下の象限を観光地として外部への魅力向上が必要な地域

（Attractive Enhancement）、左下の象限を観光地として住民の意欲向上と外部への魅力向上の二つの革新が必要な地域（Innovation）、左上の象限を住民の意欲向上が必要な地域（Activation）と定義します。四つの象限の頭文字より「SAAI」モデルとします。

【SAAIモデルをベースとしたソリューション観光振興策について】

<Innovationゾーン>

地域住民や域内事業者の観光アクティベーションを高めるための「域内施策」への取り組み

域内の取り組みにより観光アクティベーションが向上した後、アウトプロモーション等の「域外施策」への取り組み

- 主な該当地域：愛知県、茨城県、埼玉県

<Activation ゾーン>

地域住民と域内事業者の観光アクティベーションを高めるための「域内施策」への取り組み

- 主な該当地域：大阪府、東京都、福岡県

<Attractive Enhancement ゾーン>

アウトプロモーション等の「域外施策」への取り組み

- 主な該当地域：岩手県、島根県、福井県

<Success ゾーン>

新分野、新領域での観光開発や世界的な観光地に匹敵する観光地づくり

- 主な該当地域：沖縄県、京都府、北海道

■ 主な域内施策

- 人材育成・人材マッチング
- 観光まちづくり・地域ブランドづくり
- 着地型観光商品づくり
- インナープロモーション
- 名産品・特産品開発

■ 主な域外施策

- エリア・プロモーション・マネジメント*を中心としたアウトプロモーション
※宿泊者の増加による地域経済活性化につながるための具体的且つ効果的なプロモーションの戦略を提案し、プロセス管理をしていく取り組み

【調査概要】

1. 調査対象（対象地域）：全国 47 都道府県 性別：男女 年齢：20 歳以上
2. 調査手法：インターネット調査（インターネット調査パネルに対するオンライン上のアンケート調査）
3. 有効回答数：4,700 サンプル（47 都道府県×各 100 サンプル）
4. 調査内容：住民の観光活性化に対する意欲・行動、推奨観光資源、観光頻度、都道府県別訪問意向に関する調査
5. 実施期間：2015 年 7 月 10 日(金)～7 月 14 日(月)
6. 調査主体：株式会社ジェイティービーモチベーションズ

<報道機関の方からのお問い合わせ先>

JTB 広報室 TEL：03-5796-5833

<企業の方からのお問い合わせ先>

ジェイティービーモチベーションズ

ソーシャルビジネス局 担当：宮崎・有馬・井上

TEL：03-5410-9362